

## 1 水道の普及

本県の水道は、甲府市が大正2年3月に給水人口10万人の施設を創設したのを初めとして、昭和10年までに上野原町、都留市、河口湖南水道企業団、大月市、勝沼町、富士吉田市が創設し、現在18施設の上水道が県内総人口の約75%の人々の生活を担っている。

しかし、簡易水道への依存率は依然として高く、事業の経営規模も給水人口300人以下の小規模のものが多い。

水道の普及は、戦後の生活水準の向上と衛生思想の普及、昭和27年の簡易水道に対する国庫補助制度の創設、さらに、昭和30年代からの経済成長に伴う施設数、給水人口、給水量の増加、昭和38年度の県単補助制度の創設等によって促され、昭和51年度には90%台に達した。

以後、昭和54年度に山梨県水道整備基本構想を策定し、未普及地域の解消や広域的な水道整備促進に努めてきた。

平成23年度末の給水人口は853,747人で、総人口875,967人に対する普及率は、97.5%である。

市町村別の普及率は、市98.0%、町97.3%、村80.9%となっており、町村の普及率が市の普及率に比べて低い現状にある。

普及率が95%以上の市町村は22団体、85%未満は2団体である。

### 現在給水人口と普及率

(平成24年3月31日現在)

(単位：人)

区 分		市	町	村	計	
総 人 口		745,481	108,735	21,751	875,967	
給 水 人 口	上 水 道	620,984	57,973	3,783	682,740	
	簡易水道	108,652	47,792	11,822	168,266	
	内 訳	公 営	108,652	47,792	11,415	167,859
		その他	0	0	407	407
	専用水道	678	79	1,984	2,741	
計		730,314	105,844	17,589	853,747	
普 及 率 (%)		98.0%	97.3%	80.9%	97.5%	